

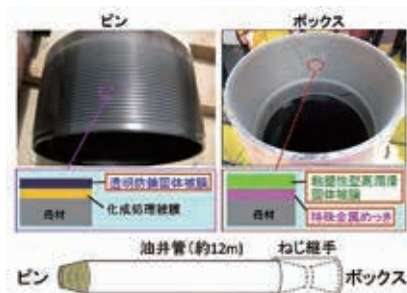
全国発明表彰「発明賞」を受賞

日本製鉄は、(公社)発明協会による令和元年度全国発明表彰において、「固体潤滑被膜を用いた油井管用ねじ継手の発明」で「発明賞」を受賞しました。表彰式は、6月10日にホテルオークラ東京で行われました。

本発明は、ねじ部に施工する各種固体被膜を組み合わせ、海中へのグリスの流出防止と高機能性※1を実現しました。これにより、海上油田・ガス田の開発における環境負荷ゼロを達成し、環境規制が厳しい地域での開発が継続可能となりました。また、将来にわたるエネルギーの安定供給を実現するとともに地球環境保護にも寄与しています。

日本製鉄は、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、優れた製品・サービスの提供を通じて社会の発展に貢献していきます。

※1 高機能性…防錆性、耐焼付き性、耐衝撃性、気密性など



本発明被膜の外観と構成

「気候関連財務情報開示タスクフォース」の提言に賛同

日本製鉄は、金融安定理事会設置の「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」(※2)による提言に賛同しました。今後、TCFDの提言に基づき、気候変動が事業活動に与える影響について情報開示を拡充していきます。

日本製鉄は、良好な生活環境の維持・向上や廃棄物削減・リサイクル促進など、地域における環境保全の視点を踏まえた事業活動を行っています。同時に、地球温暖化問題への対応や生物多様性の維持・改善などの課題にも積極的に取り組んでおり、3つのエコ※3と革新的技術開発を通じて「低炭素社会実行計画」を着実に推進しています。

日本製鉄は今後もこうした取り組みを継続し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

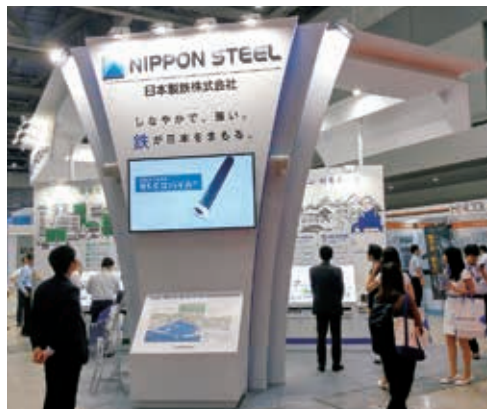
※2 TCFD: Task Force on Climate-related Financial Disclosuresの略で、主要国の中央銀行や金融規制当局が参加する金融安定理事会によって設置されたタスクフォース(検討会)

※3 3つのエコ: エコプロセス(つくるときからエコ)、エコプロダクツ(つくるものがエコ)、エコソリューション(世界へひろげるエコ)

「建設資材展」に初出展

日本製鉄は、7月24〜26日の3日間、東京ビッグサイトで開催の「建設資材展」に初出展しました。

「しなやかで強い。鉄が日本を守る」をコンセプトに、日本製鉄はインフラや建築物などの防災対策や老朽化対策を進める上でニーズが高まる防災力強化、省力化・省人化、環境負荷低減に 대응する技術・工法を紹介しました。また、展示スペースは「鉄が海・山・川をまもる」「鉄が建物・街をまもる」「鉄が道路・鉄道をまもる」の3つのテーマで構成し、鉄が持つ強さや鉄の粘り強さを活かした各種製品のサンプルやパネルなどを設置。あわせて、グループ会社である日鉄建材(株)や日鉄ステンレス(株)などの製品も共同出展しました。



展示会の様子

「建設資材展」の詳細は、右記のホームページをご参照ください。

<https://www.jma.or.jp/mente/outline/construction.html>

「FTSE4Good Index Series」 「FTSE Blossom Japan Index」に継続採用



- ※4 ESG：環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字
 ※5 「FTSE4Good Index Series」および「FTSE Blossom Japan Index」：ロンドン証券取引所の子会社であるFTSE Russell が開発した指数

日本製鉄は、ESG※4投資のための株価指数「FTSE4Good Index Series」「FTSE Blossom Japan Index」※5の構成銘柄に2年連続で採用されました。また今回、子会社である日鉄ソリューションズ(株)も構成銘柄に採用されました。

これらの株価指数は、国連の持続可能な開発目標(SDGs)を含む既存の国際的なESG基準に基づいた評価モデルを使用して構成され、企業のESGへの取り組みに着目する世界の投資家から重要な判断基準として幅広く活用されています。

今後も、日本製鉄は世界最高の技術とものづくりの力を追求し、SDGsにも合致した優れた製品・サービスの提供を通じて、社会の発展に貢献していきます。



展示会の様子



「E.E.東北19」に出展

日本製鉄グループは6月5～6日、宮城県仙台市の夢メッセみやぎで開催された「E.E.東北19」に出展しました。本展示会は、建設関連分野における新材料・新工法の総合展示会で国内最大規模を誇り、今回は295社が出展、過去最多の891件の新技術・新工法が紹介されました。

「震災復興」と「国土強靱化」にワンストップソリューションで貢献する日本製鉄グループをコンセプトに、診断・新設・補修・補強の各ステージに対応した商品をお客様から要請が多い「工期短縮・省力化」「コスト削減」「機能強化」の3項目に分類して、約30アイテムを紹介。期間中は1600人を超えるお客様に来場いただきました。

縞目模様を改良した 「メトロデッキ®」を発売

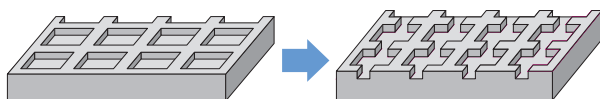
日本製鉄は、6月に縞目模様を改良した覆工板「メトロデッキ®」※6の販売を開始しました。本商品の改良は約50年ぶりとなります。

今回、日本製鉄は排水性向上を目的として、製品長手方向に排水溝を付与したH形鋼を用いる「新縞目メトロデッキ」を開発。縞目の凹四角形状を連続させ、溝付き格子模様に変更しました。従来の材質・寸法・構造性能はそのままに、路面乾燥時間を大幅に短縮し、耐スリップ性能の早期回復を実現。あわせて、滑り抵抗値の向上により車両・建設機械の走行安全性も向上しています。

日本製鉄は、今後も世界最高の技術とものづくりの力を追求し、質の高い信頼できるインフラ開発に取り組んでいきます。



メトロデッキ®



縞目模様変更

- ※6 メトロデッキ®：地下鉄工事や地下街の建設、地下配管工事などの各種路面掘削工事、仮設橋梁、作業構台などに使用される路面覆工板



広報誌バックナンバー

これまで鉄道、船、橋、缶、車などをテーマに特集を組んできました。QRコードを読み取ることで、バックナンバーをご覧いただけます。

<https://www.nipponsteel.com/company/publications/quarterly-nipponsteel/index.html>

なお、定期送付ご希望の方は上記アドレスよりお申し込みください。